



私は、平沼赳太先生、小泉龍司先生と共に「国益と国民の生活を守る会」（「國守の会」）という会派を立ち上げました。私が付けさせていただいたこの会派の名前には、私の政治に対する信念がこめられています。

私は、平沼赳太先生、小泉龍司先生と共に「国益と国民の生活を守る会」（「國守の会」）という会派を立ち上げました。

「国益と国民の生活を守る会」（「國守の会」）は、片輪走行が第一という民主党のスローガンはもつともですが、それだけでは片輪走行のようなもの。国政においては、同時に外交や安全保障などの分野で日本の「国益を守る」というスタンスを強く打ち出すことこそ不可欠なのです。



李登輝元総統と李登輝元総統のご自宅にて。

## 「国益と国民の生活を守る会」

に、私は台湾を訪れて李登輝元総統とお会いし、日本とアジアの将来について、じっくりと膝詰めで意見交換をしてまいりました。

第45回衆議院総選挙(平成21年8月30日投票) 静岡7区 小選挙区開票結果			
候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	無所属	129,376	52.09%
斎木 武志 氏	民主	63,116	25.41%
片山 さつき 氏	自民	54,128	21.79%
竹内 隆文 氏	幸福実現	1,764	0.71%

有権者: 326020人 投票者数: 250190人 投票率76.74%

平成二十一年八月三十日（日）に行われた第四十五回衆議院総選挙は、六九・二八%という非常に高い投票率（全国平均）にも現れています。国平均よりも現れていくように、国民の熱い期待が込められた選挙だったと振り返ります。

中でも全国屈指の激戦区といわれた静岡7区は、投票率七六・七四%と、さらに有権者の皆様の高い関心を集めました。選挙中は、地元はもちろん、北海道から南は沖縄、果ては在外邦人の方々までほんとうに多くの方からの熱い応援とご支援を賜りました。日本一の城内みのる後援会、そして全国から馳せ参じてくださったボランティアの皆様に心から感謝申し上げます。

いたいた一二万九三七六票、得票率五二・〇九%というたくさんのご支持に、私、城内みのるは今、その重責を痛感しております。私は、以前から訴えてきた議員特権に甘えない政治活動をしようと、赤坂議員宿舎には入らず、1LDKの賃貸マンションを借りて新たな生活を始めました。

私は、以後から訴えてきた議員特権に甘えない政治活動をしようと、赤坂議員宿舎には入らず、1LDKの賃貸マンションを借りて新たな生活を入れることで範を示すべきでしょう。私は、以前から訴えてきた議員特権に甘えない政治活動をしようと、赤坂議員宿舎には入らず、1LDKの賃貸マンションを借りて新たな生活を入れました。

翌十月三十一日には、川合花の舞にお邪魔しました。川合花の舞は浜松市天竜区佐久間町に伝わる民俗芸能（神事）で、神社の舞庭（まいど）に神々を招いて湯立てを行い、人間の生ま再清まりを願うというお祭りです。静岡七区には、このような民俗芸能や神事、お祭りが今もたくさん残っています。個人的なことで、大好きなんです。お祭りを見ていると、人々の祈りや願いが伝わってきて、この土地に脈々と受け継がれてきた伝統文化を感じのです。

## 城内みのる再び国政へ！

激戦区

静岡  
7区

民主の風吹かず

信念

# 新・信念通信

vol.1

**衆議院議員 きうち 城内みのる**

平成二十二年五月発行  
城内みのる後援会討議資料

まず自ら襟を正す！  
→ LDKからの再出発！

恒例の棚田での稲刈り

故郷だよ！

「勝って兜の緒を締めよ」といいます。一二万九三七六票という多くの熱いお気持ちを受け止めたとき、私はさらに謙虚に、

さらに真摯に自分に与えられた責務を全うしなければならないと決意を新たにしました。民主党政権になつて、「政治主導」のスローガンのもと、これまで日本の行政を支えてきた役人への批判、いわゆる「官僚バッティング」が高まっています。確かに、行き過ぎた「天下り」など、悪しき慣行は改めるべきです。しかし、政治家だけで日本の舵取りはできません。立法府には立法府の、行政には行政のプロフェッショナルとしての官僚の専門性は活かすべきだと考えます。むしろ、他人の批判をする前に、まずは国会議員こそ襟を正し、世界一といわれる議員特権に自らメスを入れることで範を示すべきでしょう。

私は、以前から訴えてきた議員特権に甘えない政治活動をしようと、赤坂議員宿舎には入らず、1LDKの賃貸マンションを借りて新たな生活を入れました。

身体を使って汗を流し、安心安全で美味しいものを。本当に良いものを提供して人々に喜んでもらう。仕事とは本来、そういうものではなかろうかと確信する秋の一日でした。

昨年十月十日には、浜松市北区引佐町の久留木の棚田で毎年恒例の稲刈りを行いました。棚田での稻作体験は今年で四年目。自分の手で植えた稲を自らの手で収穫するというのは感無量です。農家のみなさんと収穫の喜びを分かち合えたようで、なんだかとてもうれしくなりました。



自宅の賃貸マンション。アイロンも自分でかけています!

## ふるさと故郷の声を国政へ

が第一という民主党のスローガンはもつともですが、それだけでは片輪走行のようなもの。国政においては、同時に外交や安全保障などの分野で日本の「国益を守る」というスタンスを強く打ち出すことこそ不可欠なのです。



遠州地方は伝統文化の宝庫



城内みのるオフィシャルサイト  
[www.m-kiuchi.com](http://www.m-kiuchi.com)

**創生『日本』発足！**

二月五日、故中川昭一先生が立ち上げられた「真・保守政策研究会」が名称を変更し、平沼赳氏先生を最高顧問、安倍晋三先生を会長に、新たに「創生『日本』」として発足しました。私は事務局次長を拝命し、役員のひとりとして会の運営の一端を担っています。今後は、党派を超えて集結した約八十名の同志とともに、豊かな歴史と伝統文化をもつこの日本国を再生するため、街頭演説や集会などの場で活発に取り組んでまいります。



創生『日本』総会(平成二十二年三月)  
左から、安倍晋三会長、稻田朋美事務局長代理、高市早苗副会長、平沼赳氏最高顧問、城内実事務局次長



**品格教育の推進**

文部科学委員として、衆議院では、文部科学委員と法務委員を務めています。文部科学委員会では、教育や文化の問題が取り上げられます。この四年間、静岡七区の隅々まで回る中で、「城内さん、今の（悪い）世の中をどうにかしてくれ」という

声をたくさん拝聴いたしました。確かに、世の中を良くするも悪くするも根本は教育です。自民党政権下では、アメリカ経済を手本とした、お金で金を買うようなマネーレース（新自由主義）が助長され、その結果、格差社会が広がりました。もうかれ何でも良い、勝つためには手段を選ばないといった悪い風潮を改め、未来を担う子供たちには、弱者をいたわり、家族や隣人を思いやり、命や人権を守り、環境を大切にする「品格教育」を推し進めて行きたいと考えています。

三月九日と十日の委員会では、政

府の「高校無償化」法案について、

二日連続でそれぞれ参考人質疑、政

府質疑に立ちました。政府質疑では

法案に基本的に賛成しつつもその問



# 政界再編！！ある日本の再生へ

題点を指摘し、加えて民主党のいわゆる「政治とカネ」の問題について川端文部科学大臣に真意を問いました。

しかし、今、残念なことに日本の政治はむしろ混迷の様相を増しています。特に、政権交代によつて第一党となつた民主党の、それも幹部にまつわる「政治とカネ」の問題には、多くの国民が失望していることでしょう。これではますます政治への不信は高まるばかり。

一方、法務委員会では、国民の安全と国家の成り立ちを支える法律や法制度が議論されます。

さきの臨時国会中の十七日の法務委員会においては、



私の本年の目標は「政界再編」です。今は無所属ですが、このまま終わる気は毛頭ありません。民主、自民を問わず、志ある方々とともに、新しく大きなねりを創り出すべく、坂本龍馬や山岡鉄舟の精神で今後も精励努力を続ける所存です。皆様の変わらぬご支援を、心よりお願い申し上げます。



衆議院参観者  
2000人突破!!

## 国会見学に行こう！

旅行に最適な季節となりました。この機会に、国会を見学しませんか。城内みのる後援会では、昨年から「国会見学ツアー」を企画し、たくさんの方々と旅の思い出を作っていました(累計で約2000人)。

現在、国会会期中につき、日帰り(木曜日限定)プランのみですが、城内みのるが皆様をお迎えします。

【浜松事務所】  
〒433-8112 浜松市北区初生町691-1  
TEL<053>430-5789 FAX<053>430-5756

【国会事務所】  
〒100-8982 東京都千代田区永田町1-2-1衆議院議員会館441号室  
TEL<03>3508-7441 FAX<03>3508-3921

E-mail : info@m-kiuchi.com  
U R L : http://www.m-kiuchi.com



メール会員登録募集中！

城内みのるの番組出演、新聞・雑誌掲載情報など、最新の情報をいち早くメールでお知らせしています！



アクセスはこちらから！